## ◉神戸の集いから

### ★陳舜臣氏直木賞受賞を山仲間が再度山で祝う

2月2日の再度山灯籠茶屋は、焼肉の香りと、晴やかな喜びで満ちていた。メンバーの陳さんが直木賞受賞というので、武鉾毎日登山会が祝賀会を催したからだ。

朝9時、いつもの登山姿の陳さんが現われると拍手が起り、握手の手が幾つものびる。

「神戸にいる時は、毎朝登っています。今年は三〇〇回以上を記録するでしょう」とあいさつ。お祝いにかけつけた「黒い米」の作家武田芳一氏より登山会からの記念品を受けてニッコリ。

陳さんの前のテーブルの上につぎつぎに並べられる赤飯、おでん、焼肉は、山仲間の心のこもったお祝のしるし。誰れもかれもが親しく声をかけ、受賞を祝った。

### ★原口市長に物申す会開く

神戸市政にたずさわって二十年。原口神戸市長の頭脳が老朽化しているかどうかをチェックするという趣旨の、〝原口市長に物申す会〟が、一月十八日、オリエンタルホテルで行なわれた。

発起人は、秋田博正・神戸初代JC理事長はじめ、歴代理事長と滝川博司現理事長、また、世話人として牛尾吉朗五代目理事長が顔を並べ、神戸JCの有志一〇〇名余りが、既に会に申し込んでいる。

当日は、砂田重臣自治政務次官も出席、特色ある神戸市政と、ビジョンを持った原口市長の態度を賞賛した。

市長の弁舌がますます冴えて、「物申す会」が、物申される会とあいなった。

## chianti corner

### 株とお酒

石野成明

〈石野証券社長〉

・お酒と株って関係あるんですか？

「そうやなあ……。酒は百薬の長といって、身体にいいから好きで求めるわけであって、これが好きすぎて量をのみすぎたらあかん、薬にならん。

株も、オーソドックスな利殖の点を考えたマジメな投資ならもうかる。しかしこれも投機にはしると、酒と一緒で面白いし財産をすってしまう。酒にものまれたらいかん。株もこりすぎたらいかん。そのあたりは株も酒も、毒にも薬にもなる点が似ているかな」

・あなたの飲み加減とタイプは？

「コニャック二杯で、適当に女の子がいてくれるといい。雰囲気を楽しむムード派。ビールをコップ一杯で真赤になるが、まだ、倒れたことはないね」

・キャンテmをごひいきの魅力は？

「榊君のツラに似合わぬおしゃれな感覚が、店にもよく生かされてるね。神戸を代表するようなバタくさい感じをゴチャゴチャした中によく出している一人でも、婦人づれでも楽しめる店というところかな。それに、オックステールのシチューとか、ちょっとしたツキダシ、また、オールドをサントリーの樽から飲ませてくれるというような細やかに気を配っている。値段もまあまあやが、榊君がナマケンと店へ早よでてこないかんいうといて…」（談）

洋酒の店

キャンテイ

榊　晴夫

神戸・生田区北長狭通二ノ三

TEL　〈39〉3060

# 神戸遊戯誌66

## ハンティング(1)

青木重雄

### ★田村、高橋の神戸狩猟界の二恩人

考古学者の説によると、日本に人類が住み始めたのは新石器時代からだとされているが、その頃はまだ牧畜も農耕も始まらず、猟と漁による生活であった。おとしあな、くくりわな、棍棒、ヤリ、弓矢など用い、漁具は骨や角で作った釣バリ、モリ、草木のセンイで作った引きアミなどを用いた。獲物は案外今日と変わらず四足獣ではオオカミ、ヤマトジカ、ミコトイノシシ、シカ、クマなどで、遠い太古のマンモスや象は当時はすでに絶滅してしまっていた。

さて、近代兵器としての鉄砲がわが国に登場したのは江戸時代の天文十二年の八月九州の種ケ島にポルトガル船が漂着して、紅毛人が火縄銃をもたらしてからのことである。これがいわゆる種ケ島だが、つづいて明治には単発銃と二連銃が英米などから輸入され、わが国では村田銃が発明された。つづいて大正8年にはウインチェスターやブラウニングの自動五連発散弾銃が輸入され、これらに刺激されて南部中将の手によって南部銃（有名な三八式歩兵銃）が創製された。これらと平行してハンティング（狩猟）の方法が革命的に飛躍したことはむろんである。種ケ島のような幼稚なものでも鉄砲は鉄砲だからその威力にものをいわせて鳥獣類を乱獲したことはいうまでもない。疾走中の獣を射ち倒すだけに射術に長じていた者もいた。その後火縄銃から今日の精巧な国産猟銃にいたるまでには各種の優秀な輸入品や国産改良鉄砲が登場しているわけだが、今日のすぐれた連続速射の二連や自動五連のライフル銃を用いても仕損じることのあるのを思うと、現代のハンターも恥しい気がするのではなかろうか。

以上のようにしてわが国にも本格的なハンティングが行なわれるようになってきたわけだが、外国種の鳥猟犬が外国の外交官や貿易商社々員により輸入されたのは明治初年頃からのようだが、日本人の狩猟家にはほとんど

昭和三年頃の狩猟。中央がハンターでほかの人はセコとよばれ、獲物を追いたてる。

広瀬美津喜氏
〈神戸市連合猟友会会長〉

明治末期の狩猟スタイル。神戸に住んでいた混血の三木氏。彼は狩猟中不慮の死をとげた。

林　勇男氏
〈兵庫県クレー射撃協会会長〉

堀尾　茂氏
<射撃協会理事>

奥川　一夫氏
<兵庫県猟友会専務理事>

菅野　良三氏
<兵庫県猟友会灘支部長>

普及されなかった。なぜなら当時の日本人狩猟家の大部分の持ち銃は、火縄銃を管撃銃に改造したもので、居鳥をねらうものばかりであった関係と、鳥獣の数が非常に多かった関係もあって、特にすぐれた性能をもつ外国犬（イギリスより輸入のセッターやポインター）を必要としなかったからだ。むろんそれ以前からイノシシ猟には秋田犬や土佐犬などの日本犬が使われていたが……。だが、大正9年に鶴見の花月園で故華蔵界能智氏が主宰して催された中央畜犬協会の第二回品評会の出品犬のほとんどが外国猟犬だったことから見ると、この頃にはすでに相当普及していたことがわかる。

ところで、猟犬養成について忘れることのできないのは、大正2年にいち早く当時の大会社鈴木商店の後援で神戸市に田丸猟犬訓練所を創設して猟犬の繁殖訓練、販売に大いに活躍した名物男故田丸亭之助氏のことである彼は茨城県出身だが、明治21年東京商業素修学校を卒業後、東京帝大教授のドイツ人・ドクトル・スクリッパ氏について猟銃と猟犬の育成訓練を学んだのち、同34年鈴木商店に入社して店主鈴木よね女史の令息岩蔵、岩次郎両氏の猟の指導に当たった。39年渡欧して英、独でキジの人工繁殖と猟犬の訓練法を習って帰国後田丸猟犬訓練所を創設したわけだ。大正10年には宮内省から猟犬訓練事務の嘱託を下命されたが、全く猟犬の大家であり、名射手であった。資性豪放で、わが国のれい明期の鳥猟犬の発展に尽くした功労多く、後藤新平伯や東郷元師はじめ当時の高官や名士の知遇を得ていた。

欧米のフィールド・トライアル（猟犬野外競技会）は古い歴史があるだけに非常に発達しているが、日本の猟野競技会の歴史は新しく、その草分けは大正12年に名古屋市の出井文平氏らによって愛知県の庄内川畔でのものだが、資料はハッキリしていない。つづいては前記の神戸の田丸氏が大正15年10月10日阪急沿線猪名川沿岸で飼いウヅラを放って開催した猟野競技会である。出場犬の十二頭のすべてがセッターとポインターで田丸氏が審査を担当した。次には東京の中央畜犬協会による昭和6年春の同競技会（多摩川原）と昭和7年春の狩猟と畜犬社による千里山での競技会があるが、共に初期に属するものだった。しかしこれらはまだ本格的なものではなく、野生のキジや他の山鳥をゲームとして、名実共に真の猟野競技会が実施されたのは、昭和8年秋富士山ろくの山中湖畔で行なわれた第一回全日本猟野競技会だった。この時は全国から三十一頭の名猟犬が集まり、二日間にわたって催されて大成功をおさめたが、これを契機として翌年9月に今日の社団法人全日本狩猟倶楽部の前身である大日本狩猟犬倶楽部関東部会が結成され、つづいて関西には日本猟犬連盟が結成された。この他いくつもの同種協会が各所に設けられたが、今日まで存続発展しているのは全猟だけである。

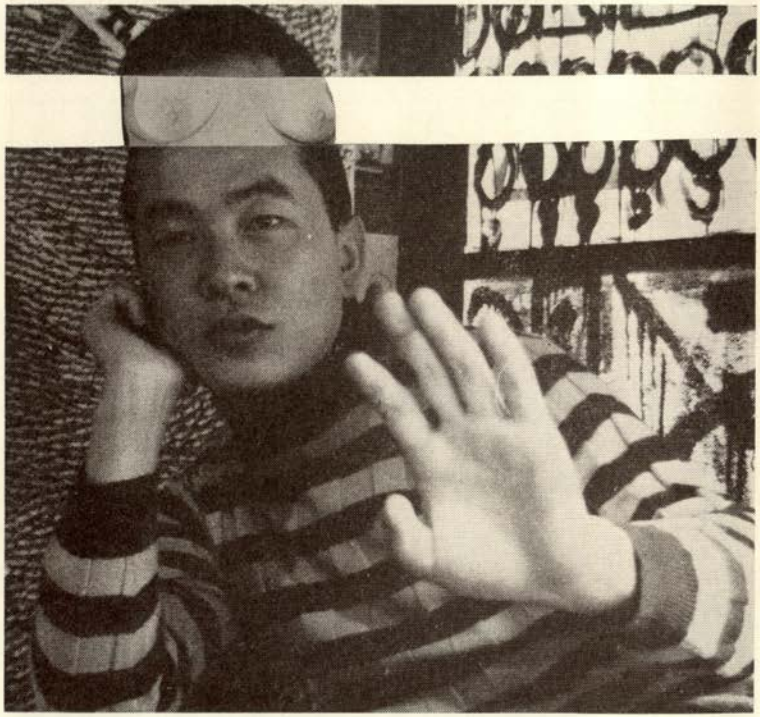
大正年代の神戸に於ける猟人としては、田丸氏の他に高橋真七、林勇次郎、堀尾栄之助、滝川英一（精一氏の弟）、故ハンター、故S・G・カール（インド人）らがいるが、なかでも高橋氏は早くから神戸駅すぐ北側で高橋銃砲店を経営し、また多年にわたって月刊「銃猟雑誌」を刊行し、実猟も名手だった。特にクレー射撃がうまく、全国的なクレー射撃会にはほとんど出場して、常に高点入賞をつづけた。クレー射撃の新進射手のために熱心に指導に当たった功績は実に大きく、神戸の猟銃界としては田丸氏と共に永久に忘れられない功労者だろう。ちなみに遺族高橋しん未亡人は、現在堺に住んでおられる。ほかに大正から昭和へかけては有坂忠平、砂野仁、田村亨、呉錦堂氏らがいたが、砂野氏らはよく淡路島はじめ瀬戸内海の島々へ猟に出掛けたものだった。当時神戸から北陸方面へ鳥猟に出掛けた狩猟家も多かったが、福井市の永平寺がキジを禁鳥にしていたため、同地の人々と顔を合わすと、「やあ、殺生人が来た」といわれてイヤな思いをさせられたものだった。神戸在住の外国の各国領事や武官に狩猟家が多かったこともその頃の特徴である

（四四・一・三十記）

# おっぱいろん

向井修二 〈イメージプロデューサー〉

「垂れさがろうとするものをひっぱりあげる力や伸張性・耐久性などが、まるで川に橋をかけるほどの精密な力学的技術のもとに設計されている」と始まると、何か機械の設計の問題のように思えるけれども、ブラジャー・エンジニアの大半は女性であり、男性のエンジニアが数少ないことはどうしてであろうか？男性のブリーフなぞは力学的技術のもとに設計されているなぞと聞いたことはないすべて一律で、変化といえば色ぐらいなもので、レースだとかフリルだとかいおうものなら、変態ではないかと疑われるのがセキのヤマだ。女性のたかが胸あてのことと思うけれど、アメリカ全女性のブラジャーのために費す金額は、年間だけで実に五億ドルに近いといわれる。しかし、ある若い医者がブラジャーは全くつけない方が体によいのだと主張して、ヌーディスト・クラブを神戸につくるべきだと、恥じらいながらいっていた。大きすぎる乳房、小さすぎる乳房、座るとひざまで垂れさがる乳房、ロンパリの乳房、左右の大きさのちがう乳房、どれひとつ同じ大きさ、形のものはない乳房を、何とかしてひきたてようというのだから大変なことだ。もともと相手は筋肉ではないのだから、子供を生んだり、年をとるにしたがってすぐ弾力性を失ってくる。鍛えようにも鍛えようのないものらしい。一時、知能指数の高低と乳房の大小が反比例すると物議をかもしたものだけれども、たいていの女性が望む理想的な乳首の位置は年々あがりつつあり、物価の上昇と何か関係があるのではないかと真剣に研究しているモノズキもいるそうだ。しかしブラジャーの発達に伴なって、ますます男性の目は自信を失なっていくことだろう。ある高名な精神分析医も「ブラジャーによって人工的に演出された女性の乳房は男性の心に理想化された虚像をうえつけ、理想の乳房にめぐりあえなくなった男性は手ひどいショックをうける。



健全な性生活のための愛撫の対象としては、ほどよい形の乳房が望ましい。誤った高望みを抱きすぎる男性が多く、不幸な夫婦関係、やがては離婚へとつづく〝巨大乳房崇拝観念〟の悪癖もしばしばみうけられるところである」と書いているが、ボイン・ボインと男どもがよく口にし、喜んでいるのはやはり巨大崇拝のあらわれであるように思える。近頃の週刊誌を開いても、ピンナップの氾濫でいろいろな型をみることができるけれど、どれが自分の好みであるかはやはり型もさることながら弾力の触覚的体験が重要であると思う。美人に大きい乳房が少なく、不美人に大きいのが多いのは男なら同感するむきもあるだろうが、何にしろ「トップレス時代来たる」とマスコミが騒ぐにもかかわらず、あまりお目にかかれないのが残念である。とにかく乳房の大小で社会が変化したりする現象があらわれているのを全学連の女闘士などが研究しているとか？

# 神戸百店会だより

## ★大阪国際空港に開店したブランドゥブラン昼月堂・ヒロタ・コトブキ

万博をひかえて待望の大阪国際空港ターミナルビルが完成、二月一日から営業を開始した。空港までのバイパスもこの日開通。晴天にめぐまれた空港は、国際線、国内線とも見物客も交えて大賑い。

神戸百店会からは、ブランドゥブランが国際線にダウティ・フリー・ショップを開いた。オレンヂ色の明るい店内に、小さなレモン色の椅子。香水はジャンパトウを初めエルメスなど各種。化粧品はヘルナルビンスタインなどが感じよく並べられ神戸らしいあかぬけしたビューティフリーショップだ。浅木トミコさんは「大阪国際空港は、地元の国際空港だという意識がありましたので、神戸の皆様に喜んで頂きたい気持でいっぱいです。私も数十回の海外旅行の経験を生かして、商売っ気をはなれて、私なりのムードで営業したいし、世界の空港を色々見学してみて、この店が、少しでも空港のムードに花をそえ、旅行者の眼を楽しませたいと思います」と抱負を語った。

また、国内線にも、高級舶来品店のブランドゥブラン店を開き、しゃれたセンスで人気を集めている。おみやげ品コーナーでは、昼月堂、ヒロタ、コトブキがオープンして、神戸の洋菓子が飛ぶように売れていたさすがに東南アジア随一といわれる空港を三分おきごとに出発する飛行機。情報産業時代、日本の玄関口として空港がいかに重要なパートであるかがわかる。

## ★「ちんがら屋」で春のきものモード展

春の催物では恒例になった〝ちんがら屋〟の〝珍趣会〟が去る二月二日、オリエンタルホテル二階大ホールで開かれた。新学期や春の慶びをひかえているせいか中振袖や留袖などの式服に人気が集ったようだった。男物では長襦袢に凝ったものが目立ち、手書きの浮世絵模様の一品物が今年のちんがら屋オリジナル。

「特に今年の流行色などと取りたてて打ち出しておりませんが、幾年たっても新鮮な感覚のちんがらやカラーを、と心がけ、また皆様にそれを喜んでいただいております」とは番頭さんの弁。

新春を飾るにふさわしい華やかな催しだった。

## ★オリエンタルホテルでひなまつりパーティ

3月3日は桃の節句。オリエンタルホテルでは一日早い3月2日スカイレストランでひなまつりファミリーパーティを開きます。マンガや人形劇などステキなプランが一杯。楽しい一日をお子様とどうぞ！お申込みはオリエンタルホテル（TEL33－8111）

## ＊ショップトピックス＊

★さんちか〝ムラタ〟が3月24日―25日の3日間、ニューポートホテル六甲の間で〝オシャレな春のトップ新作展示会〟を開きます。お誘い合せの上お越し下さい。

★トアロードの高級婦人帽子店〝マキシン〟では3月12日、13日の2日間、オリエンタルホテルで〝'80春夏のマキシングループ制作発表会〟を開きます。ディオール等のフランス直送の帽子の美しさをご観賞下さい。

★おもちやの〝カメヤ〟におひな様が揃いました。桃の節句をより楽しく飾って下さい。

★オシャレな洋品店〝セリザワ〟の京都店が新しく大きくなりました。京都へお出かけの節はぜひお立寄り下さい。

★ふぐ料理の〝一富士〟では3月中旬から鯛料理を始めます。お値段は二、〇〇〇円から。昼食には手軽なおひる鯛ごはん（一、〇〇〇円）をどうぞ。

**人事異動**

オリエンタルホテルの岩本行生氏（広報課）が退社。トアロードのコロンバンに就職されました。新任は柳原昇氏です。

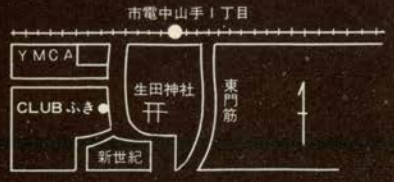
**訃報**

オリエンタルホテルの伊藤料理長が一月二十四日未明に逝去されました。

菊水総本店の菊水吉之助氏が二月一日PM一時頃、急性胃拡張のため逝去されました。謹しんで御二方の御冥福をお祈り申し上げます。

KOBEの
気楽な雰囲気が
楽しめる
CLUB《蕗》
＊

CLUB ふき　蕗



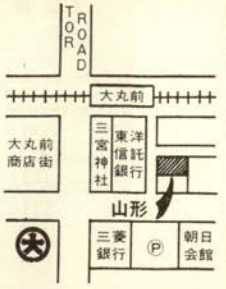

生田区下山手通2丁目　TEL 39－1515

神戸の街にまた一つ
名物が加わりました

山形は家族的な雰囲気と
なごやかなサービスで
愛されたいと思っております

焼鳥・鍋もの
山形

三宮神社東路入る
TEL　33－5979
　　32－2417

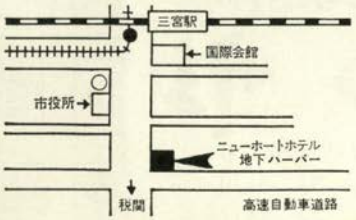


ちょっと錨を降ろしてみたくなる
《ハーバー》はそんな
ムードの新しい神戸の穴場です。

REST HOUSE

# HARBOUR

三宮ニューポートホテル地下 TEL 23-4171

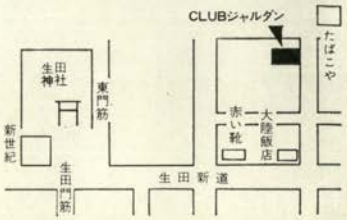



ジャルダンはフランス語で
花園ということば
理屈ぬきに楽しい店
ジャルダンは
あなたのいこいの花園です

CLUB

# ジャルダン

神戸市生田区中山手Ⅰ丁目ⅠⅠ
TEL 078〈33〉8589



## スタンドHIRO 宏

神戸市生田区北長狭通1丁目22　TEL 32−2816

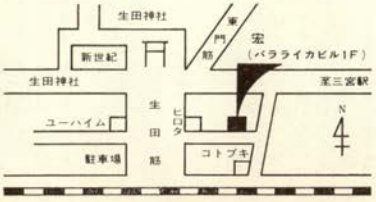
DRINKING

## JAZZ BOX Candy

神戸市生田区加納町3丁目2
TEL 33−3371

★スタンド〝宏〟は、生田筋、洋菓子のヒロタを東に入ると新しく出来たパラライカビルの一階にある。

「いいたいことをいわせてくれるし、マイペースでのめる店ですよ」と隣のお客が声をかけてくれる。スタンドに8人がすわるといっぱいになる広さだが、洋酒が楽しめる落ちついた店だ。「気どらないだけ。ただそれだけの店ですよ」というマスターの新政宏さんは、梶光夫に似た甘いフエイスだが、頑固で、イヤだともものもいってくれない。兄弟みたいなバーテンのひろし君とチヨット ボイーン のせつ子さんと、三人のチームワークがとれている。客筋は30才前後のサラリーマン、商売人が多い。ビール小（200円）水割オールド（300円）午後5時30分〜12時まで。



★ターこと（池野勲生）は28才。サナエは20才。若い幸せなご夫婦だ。この店を開くまで2人ともお酒を飲むのが好きで毎月5万円は使った。いっそスナックでもやればとオープンしたのが、〝Jazz Box **Candy**〟だ。ところがオープンしたら今度は飲んでもちっとも酔わなくなったという二人。キャンディは加納町3丁目の西浜側の路地を南に下り、呉服屋の前を西に入るとすぐ判る。黒い壁に、天井は Jazz Man の写真でいっぱい。白と黒のスツール席とスタンド。ハービィマンの絵がかかっている。19才〜26才ぐらいまでの外人や若いジャズマン学生が集まり、興がのればサナエも唄う。ビール200円。ホットドッグ150円。コーラ200円。コーヒー、紅茶150円。水割(角)200円。午後6時〜午前2時まで。

# ポケットジャーナル

## ★今夏西部ネパールを踏査
―神商大創立四十周年記念事業―

ネパール王国は、中印両国の文化的伝統をふまえて急速に近代化しようとしている国です。今夏、七月五日から四カ月にわたって、神戸商科大学が、創立四十周年記念事業の一環として西部ネパールに学術調査隊を派遣することになった。

これは神戸商科大学西部ネパール学術調査実行委員会（会長・神戸商大学長・寺田武義）の主催で、淡水会（同窓会）稜線山岳会（山岳部OB会）などが委員として加わっている。

八月一日、ボンベイ着、八月十日にカトマンズに入り、九月三日から、西部ネパールのカルナリの地域踏査を開始する。なお、隊員には、山岳部現役四人、OB一人、教授一人の六人の構成で、費用は概算で四〇〇万円が見込まれている。財源確保のため、目下スポンサーを募集中である。なお、実行委員会の事務局は㈱淡路屋の寺本滉氏方（35 1682）におかれている

## ★「神戸波の会」発足

美しい日本のことばを研究し、音楽などを通じてその普及をはかろうという「波の会」が神戸にも生まれ一月二十日、発会式をかねて第一回サロンが開かれた

音は波長であり、一石投じて波紋をひろげよう、ということからこの名がついたものだが、よい歌とすぐれた詩をむすびつけて、正しい日本語の話し方や使い方などを研究し、ひろめようというのがこの会の趣旨発起人は会長である国際会館の小寺巌氏、音楽家の中村茂隆神大教授、国語学の遠藤嘉基親和女子大教授ら二十七名。会員もすでに二百名に達し、隔月に例会をもつことになっている。

「いかに、ことばが時代とともに変るといっても、現代のことばは乱れすぎています。音声教育、正確な発音をなおざりにした国語教育にも欠陥があるといえます。最近では、正しいことばを使い、正確な発音のできる俳優や歌手が少なくなりました。もっとことばや歌を大事にしたいものです」と会長の小寺さんは語っていた。

なお「神戸波の会」への入会、問い合わせは神戸国際会館（葺合区御幸通八TEL(22)8161）事業部内までどうぞ。

## ★春を呼ぶ絵画展二題

一月十五日から末までア・ロード画廊で、ロード会水彩展が開かれた。出品作家は、小松崎邦雄、進藤蕃、松本宏、橋本博英、笠井誠一、星守雄の芸大出身

ロード会水彩展

## 誕生日ありがとう運動

「誕生日ありがとう運動」とは百名中三―四名はかならず生まれるという精神薄弱児（ちえおくれの子たち）に正しい理解と愛情をもってもらおうと社会啓蒙運動です。

**献金、古切手収集にご協力ください**

本運動では運動資金としての一〇〇円献金を受け付けております住所氏名、生年月日に一〇〇円を添えてお寄せいただくもので、一月二十二日現在の献金状況は、二万三千六百五十五件、三百四十七万五千七百四十三円に達しております。

また同様の趣旨で古切手の寄付も受け付けております。事務局に寄せられた古手切は、本運動に協力している長田婦人会であらためて整理したのち、換金するものです。

事務局＝神戸市葺合区小野柄二の五 青陽養護学校内
電話（22）一五五九

寄せられた古切手の山

メンバー。賛助出品の小磯良平画伯の女の水彩画三点が、生彩をはなっていた。三月十一日～二十日までは難波田龍起個展。三月二十二日～三月三十一日までは岩崎巴人水墨展が開かれる

×　×　×

二月六日から十一日までさんちか広場で、神戸二紀展が開催され、一日一万人近い観覧者に出品者も大はりきり。青木一夫、宮地孝上西良一、山崎朔三らのベテランに、西村功、鴨居玲ら中堅派の充実した画面がみられ、小西保文、小野田実、知念正文、坂本邦男、谷口和市、伊藤悦子ら（本誌二月号紹介）後続組も、二紀らしい執拗な画面追求が興味深かった。新人への神戸二紀賞は古川清が。佳作賞には、榎忠、木内芳子吉田孝雄。奨励賞には、木下昭夫、梶山公治、位田和恵、福島祐二、彫刻の鹿間厚次郎らが受賞した。さんちか広場の二紀展は、何よりも観覧者の多いことが絵を生き生きとさせていた。

盛会の神戸二紀展

## ★摩耶ふ頭こぼれ話

コンテナバースで話題の多い摩耶ふ頭。昨年の暮に到着した写真のでっかい大木（長さ53m・直径2m）は、万博のパビリオン建設に使用されるもの。従来のふ頭ではとてもこなしきれないが、摩耶ふ頭は広いので何とかなるという代物。一月二十日深夜十二時五十五分に出発して、二国を通り万博会場へ送りこんだ。まだまだこれから当分、万博への資材また美術品などの到着で話題をまきそうだ

もう一つは、摩耶ふ頭泥棒。なんと摩耶ふ頭専門の現金ドロ棒とは恐れ入る。バースにつくコンテナ船、貨客船の高級船員の室内ばかりをねらう。船員の方は海上生活のつもりでついうっかり鍵を忘れる人が多く穴場をねらった犯行だ。しかも、泥棒が誰であるか名前もわかっているそうだが

摩耶ふ頭から万博会場へ出発する大木

何分現行犯でないと逮捕できずお手上げ。そのため摩耶ふ頭へ入港した船へ出入りする人々には厳重なる名札をつけることになった。スマートなバースのちよっと困ったお話。

## ★「神港ジャーナル」誕生

昨年六月一日付をもって休刊となった「兵庫新聞」の後をついで「神港ジャーナル」（生田区中山手通一一一九菅野ビル三階（23）7353）が発行された。編集には兵庫新聞時代の古小幸信氏があたり、毎月十日と二十五日の二回発行。

一月十日の創刊号に「……地域住民としての積極的な意識を哲発し、合わせて行政参加への気運を強く喚起するオピニオンリーダーになりたいと思います」とあいさつ。今後の発展と活躍を期待したい。

## ★「道化座で詩を読む会」開かれる

昨年のクリスマス・イブの夜、話が決まり、「道化座で詩を読む会」が発足。この会は毎月二十四日、柳筋の道化座ケイコ場で定期的に開かれることになった

肉声と音と行為を媒体として、詩を伝達する試みがこの会のネライである。

一月例会のテーマは「愛」。安水稔和氏の作品など十二編が次々と道化座員達によって詠まれていく。そ

## ドライバーメモ

### 四十万キロ走れるエンジン

川口陽之

アポロ8号は、月までの四十万キロを往復して帰ってきた。四十万キロという距離は、ずいぶん長いが、最近の自動車のエンジンはどんな車でも、四十万キロぐらいは、分解整備などと全然しなくて走り通せる。

タクシーに使っている車は、三年ぐらい使って、新車に乗り替えているが、その間に、通常三十万キロ以上は走っている。タクシーあがりの中古車のメーターが、四万キロとか、五万キロ指している場合は、三十四万キロか、三十五万キロとみてよい。それほど丈夫なエンジンのついている車を、マイカー族が四、五万キロで乗り替えてしまうのは、非常にもったいない。

とはいっても、マイカー族が、十万キロ走るのに、五年も、六年もかかるとなると、車はもたない自動車というものは、走行距離よりも、年月によって悪くなるのである。最近の自動車は、非金属（ゴムや、プラスチック）をたくさん使っている。これらの非金属はほとんどが有機物であるので、四、五年たつと老化してくる。また、エンジンのピストンリングにしても、走行距離よりも、その張力は年月によって弱まるもので、そのため五年間に一万キロしか走っていなくても、エンジンの力は弱くなってしまう。

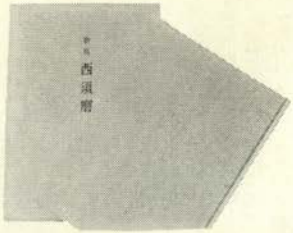
というようなことで、最近の車は、二、三年ぐらいなら、月を往復する八十万キロぐらいは走れるが、五年以上たつと、あらゆる箇所がいたんでくるので、乗り替えるべきであろう。（自動車評論家）

れは単に読むだけではなく光と色と音と行為（演技）とが一体となって展開されていく。

詩を読むということが、色んな分野の創作活動と係わりあって、どんな姿を呈してくれるか楽しみである

**★飛松実「西須磨」発刊**

作者四十余年の作歌生活の第三歌集で、昭和三十一年以後の六百十余首が収められている。




内容は、身辺生活雑詠で氏の所属する高嶺社の主張である盛装せぬ「不断着の歌」であり、厚化粧せぬ「素顔の歌」である。

芝の上に二匹の犬を横にして子と二人でかけてやる蚤取粉

退けどきに電話の多きをとめあり二十三歳美貌豊胸

英語暗記するあり幾何のノート膝に解くあり今日の出勤電車

初音書房刊〈一〇〇〇円〉

**★諸井良一郎詩集「僕は梅雨期の中にいた」発刊**

「てとらぽっと」同人諸井良一郎が初めての詩集を出した。一九六〇年代を彼の二〇代で正確に生き抜けようとした一つの表現がこの詩集である。

昼下りの出来事は常に／切符なしで着いた終着駅だ／売れ残りの果物の気もちで／ぼくは今日も会いにいった／

饒舌とも見える文体の中に、虚脱しながらも暗い内部への手さぐりの歩行が秘められている。

〈国文社刊六〇〇円〉

**★彫刻の新谷三兄妹帰国**

イタリア・ローマへ留学中の神戸の彫刻家新谷琇紀・沢子・映子の三兄妹が、二月十三日に帰国した。

## 花時計

**神戸カーニバルが近づきました！**

神戸開港一〇〇年記念祭をきっかけに生れた、神戸カーニバルは昨年も市民の人気を集めました

神戸の風土と神戸っ子の気性にピッタリのお祭りだということがいえる神戸カーニバルです。

このお祭りに一番熱心な人は、カーニバルの木場、リオデジャネイロをもっているブラジルの領事カルドーナご夫婦です神戸になんとかカーニバルを定着させようと一生懸命です。

神戸市長の原口忠次郎さんもこの熱心さに何とか応えなければと昨年「子供の日」を神戸カーニバルの日ときめましたそして、今年はもっと楽しい話題があります。

リオ市と神戸市が姉妹都市になるのです。

カーニバルで結ばれた縁とは愉快なことです。

今年の神戸カーニバルは5月3日に決定。皆んなで知恵をしぼって楽しいお祭にしたいもの、さあ準備をはじめましょう

このカーニバルこそ、あなたが主役のお祭りなのです。リズムと踊りのある素晴らしいお祭りです。

神戸市もカーニバル協会も諸団体も商店も市民も皆んな一緒になって楽しく過せるお祭りがこの神戸カーニバルです。

（Y）

**★コウベ ムービーコーナー**

**『オリバー』**

みなしごのオリバーはロンドンの救貧院から葬儀屋に売られ、雑用にこきつかわれる、ただ眠るだけの毎日だったが、ふとしたことから新しい居場所を求めて逃げ出してしまった。

貧しく醜い社会も幼いオリバーにとっては生き生きと映り、何もかもが目新しいことばかりだった。

19世紀の文豪チャールズ・ディケンズの「オリバー・ツイスト」をミュージカルに脚色した映画「オリバー！」は歌や踊りの楽しさとともに感動に満ちた格調高い内容で観客の心を魅了するだろう。

製作は「年上の女」などのジョン・ウルフ、監督には「第三の男」「華麗なる激情」などの巨匠キャロル・リード、作詞・作曲はライオネル・バート、音楽と振付が「バイ・バイ・バーディ」のコンビ、ジョン・グリーンとオンナ・ホワイトと英米の腕ききが一同に会している。キャストは、オリバー少年に二〇〇〇人の応募者の中から選ばれたマーク・レスターをはじめ、悪漢ビル・サイクルに「ジョーカー野郎」のオリバー・リード、ビルを慕うナンシーにシャニ・ウオリスなど、適材適所でそれぞれ好演している。

三月中旬より、新開会館大劇場にてロードショー公開。

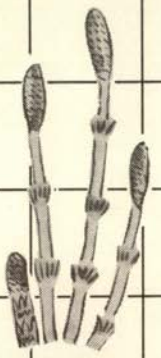
●毎月応募ハガキの中から抽選で十名様を試写会にご招待します。

抽象画と料理の店
アンフォルメ

早春のごあいさつ

肌寒い日にはまだ鍋物を
召上る方が多いのです

△鮮魚のちり鍋……
△神戸肉のバター焼き
しゃぶしゃぶ……
つくし、わらびの季節の
お料理も味わって下さいまし



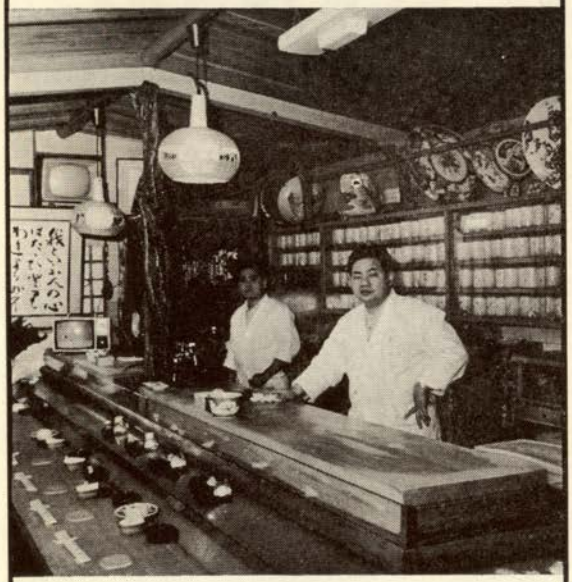
お料理と
お泊りに

春坂

御商談
御宴会
囲碁会
マージャン会
三宮元町
神戸駅より五分
閑静美庭
岩風呂

神戸中山手四 ㉒ 7836・7846

リンゴ酢と蜂蜜で
腕をふるった
新しい〝味〟



神戸三宮生田ノ社ノ西

鮨の又平

電話・三の宮 ㉝ 0935

# 非悪童物語

## 18 一鶴（いっかく）

足立巻一
え・津高和一

ぼくたちは「悪童」ではなかった。
しかし「善童」でもなかった。

**前号まで**　父は二六新報という新聞の同人であったが、ぼくの生後四カ月で急死。母は実家に帰り、祖父母に育てられる。小学一年生のとき、祖母も死に、祖父につれられて故郷長崎に引きあげたが、その祖父も急死し、孤児となる。親戚の寺や染物屋で養われていたが、急に神戸の母の実家へ引き取られ、そこから諏訪山小学校へ通うことになった。同級のトオルさんと友達になり、絵を描いたり、タルマッチをしたりして、毎日毎日遊んだ。中でも生田神社の森や、おまつりは僕達の好奇心をあおりたてた。

トオルさんのつぎに、ぼくの人生をおとずれた友人は一鶴である。

一鶴は英雄のように、ぼくの目の前にあらわれた。が、それが正確にいつのことであったかは、奇妙に記憶がない。

諏訪山小学校の三年になって、組がえがあって同級になったからだと思うが、四年生のときであったかもしれない。

一鶴が英雄のようであったのは、組がえ早々にとなりの学級と野球の試合があったときのことだ。

一鶴はセンターを守り、下位打席であったと思う。ぼくとトオルさんとは出してもらえず、応援団ということであった。

諏訪山小学校には、大きな家が建ちならぶ山手通りの裕福な家の子が多かった。かれらは気品のいい白い顔をし、サージの洋服を着ていた。ぼくやトオルさんのように小倉もめんの洋服、きものを着ているのは例外に近く、それはかれらと育ちがまったくちがう下町っ子のしるしでもあった。

級長も副級長もサージ服であり、休み時間に校庭いっぱいを走りまわるのもかれらであり、ガキ大将もかれらのなかから出るし、野球の選手もかれらで占められていた。というのも、ミットやグラブやバットを持っているのは、かれらだけだったからである。

そのサージ服の選手のなかで、一鶴ただひとりがぼくのように小倉の半ズボンをはき、ハダシであった。おそらく、サージ服だけではチームの人数がたらず、一鶴は特別に抜擢されたのであろう。それで、打席も下位なら、こどもの野球ではあまりボールのとんでこないセンターに回されたものらしい。

ところが、ゲームが始まってみると、意外なことになった。

サージ服の上位打者は、みんなバッタバッタと三振である。相手のピッチャーがチビのくせになかなかうまい。スピードボールのうえにカーブまで投げる。

三回めの攻撃で、一鶴がはじめて打席に立った。

ぼくもトオルさんも、どうせまた三振だろう、と気のない顔で見ていた。

ところが、一鶴は第一球をはげしく叩いた。

すると、ボールはぐんとのびて、センターオーバーのホームランであった。こどもの野球では外野へボールがとぶだけでもたいしたことであった。

それに、一鶴の走るのがまた早い。

浅黒い顔をふりたて、すこしお尻をつきだし、ダイヤモンドを風のように走ってホームインしてしまった。ぼくたちははじめて手が痛くなるほど、拍手した。

一鶴は厚い胸を張って、裕然とした歩調で選手席にもどる。肩幅が広く、すこし胴長で体格はがっちりしている。それがそのときは特別大きく見えた。

それに、黒い顔には鼻翼が張り、眉と目とはすこしつりあがり、大きな口をひんまげている。いかにも、ケンカが強そうだ。事実、一鶴は走るのも早かったし、すもうも腰がねばく、力があって強かった。

その日の試合で、一鶴はさらに英雄ぶりを見せた。

最終回近く、こちらが守備のとき、打球がセンターに飛んだのである。ボールがフライになって外野へあがれば、まずホームランになるというのがぼくたちの野球であった。

ところが、一鶴はすこしレフト寄りに移動してボールを待ちかまえたと思うと、がっちり両手で受けとめたのである。

「うまい！…」

ぼくの近くで見ていた受け持ちの友永先生が嘆声をもらした。シラガまじりの口ひげがだらりと上唇をおおっている初老の教師であった。一鶴の見事なキャッチングは、ぼくたちには奇跡のように見えたが、老教師にも驚きであったらしい。

ゲームが終わると、学級の人気は一鶴に集中した。三振ばかり食ってだらしなく負けてしまったので、とりわけ、一鶴のホームランとファインプレーとが目立ち、野球は学級のだれよりも一鶴がいちばんうまい、ということとなった。

その日、ぼくとトオルさんとは一鶴をまんなかにはさんで、いっしょに学校から帰った。

そのころ、どうしたわけか、一鶴は急に灘のほうに宿がえをし、転校をしないで通学していた。定期乗車券というめずらしいものをポケットに入れていて、帰りは三の宮駅から汽車に乗る。三の宮駅はいまの元町駅のとこ

「一鶴」こと吉田鶴夫。
消息ご存じの方はお知らせ下さい。（足立）

ろにあったので、ぼくとトオルさんとは同じ道すじになったのである。

やはり、その日の一鶴は得意そうに胸を張り、首すじを立て、ぼくとトオルさんとのあいだを英雄のようにゆったり歩いた。ぼくがきょうのプレーをほめちぎると、かれは「フン」と鼻であしらうようにし、すこしニヤリとなり、でも、いっこうに調子に乗ろうとはせず、ものもあまりいわない。

そのうち、何かのはずみでケンカの話になった。

一鶴は、サラリといった。

「ケンカは気が弱うてはアカン！」

それをくりかえした。

「なんぼケンカが強うても、泣いたらアカン！」

そのコトバは刃物のように、ぼくをつらぬいた。

じつは、そのすこし前、弱い同級生とケンカしておさえつけて勝ったのだが、ぼくは馬乗りになりながら泣けてしまったことがあったからである。それで、ぼくは「なるほど」と思い、叱られたような気がし、一鶴はほんとうに強いやつだと感心し、そして、上級生、いや、おとなのように思われたのである。

市電の山手線から穴門筋をくだると、三の宮駅である。すると、一鶴はポケットからカードのようなものを出し、改札口を裕々と通りぬけ、こちらをふりかえって手をあげ、人ごみのなかへまぎれこんでしまった。

それから、ぼくとトオルさんは生田筋へむかって線路にそって歩き、生田神社の東門へとのぼっていく。有田ドラッグの前にかかると、トオルさんはいつものように顔を青くし、自分で目かくして走りぬける。

「一鶴」というのは、後年の俳号である。

本名は「吉田鶴夫」という。だから、諏訪山小学校のころは「ヨシダ」と呼んでいた。

かれが「一鶴」の俳号を用いるようになったのは、十七歳ごろであろうか。そのころ、トオルさんと一鶴の家

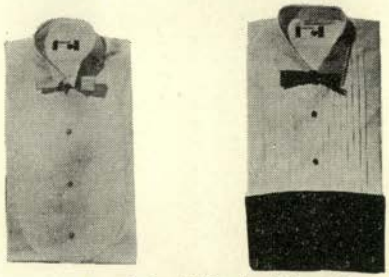
をたずねたことがある。
「三キネへ活動見にいってきます」
やせた小柄なおかあさんがそういった。
「三キネ」とは、そのころ三の宮神社の境内に新しく建った映画館のことである。
ぼくとトオルさんとは、モギリの女の子にたのんだ。
「急用や。吉田一鶴を呼び出してんか」
ほどなくカーテンのむこうで女の子が大声を張りあげるのが聞こえた。
「吉田一鶴さん、木戸までエー」
すると、同時にどっと笑い声がおこったのである。映画を見ていた連中は『忠臣蔵』の清水一角でも連想したのにちがいない。
しばらく、たった。
カーテンのはしがあき、そこからのっそり一鶴があらわれた。
黒い顔色が、そのころには自慰が過ぎたためか、まったくさえず、いちめんのニキビのあとが余計にうすぎたない。
「なんや?」
あきらかに不きげんであった。
仏頂面である。
「活動、いまええとこやったんやで。それを呼び出しやがって。それも、何で一鶴ぬかすねん?」
詰問する。
ぼくとトオルさんとは笑った。
「ま、そういいな。一鶴、いうのん、おまえがつけたんやないか?」
反撃すると、一鶴はますます仏頂面をふくらませた。
もうそのころになると、一鶴は英雄ではなく、ぼくたちにとってコメディアンのような立場にも立っていた。
昭和十七年早々のことである。
ぼくとトオルさんとは、何年ぶりかで一鶴を灘区常盤木の新居にたずねた。ぼくはその前年末まで三年半を軍隊にとられていたし、トオルさんも朝鮮にわたっていたし、いっしょに詩を書いていたなかまは「神戸詩人事件」で拘束されていた。
一鶴は貿易会社の主任になっており、家は小ざっぱりしている。前年結婚し、肉感の豊かな恋女房という人は、臨月ちかいおなかをかかえていた。
夫人が買物に出かけると、一鶴は女房を「妻、妻」といい、夫婦の性生活を微細にわたって報告し、しきりに「へへへへ」とふくみ笑いをする。
「よう痩せてはおまへんな、と妻が感心しよる」
そして、また「へへへへ」といった。
まだ独身であったぼくとトオルさんとは大いに啓発され、あげくはあたまが燃えるほどに充血した。
それが、一鶴と会った最後であった。そののちにも会っているかもしれないけれど、記憶がない。ぼくとトオルさんは一鶴にケシかけられたようにあわただしく結婚し、つづいてぼくは二度めの応召、トオルさんも、拘束されていた友だちもみんな帰ってきたけれど、一鶴ひとりはいまになっても消息を伝えない。わかっているのは、応召してビルマに派遣されたというまでであった。
「うれしがりで勇ましい男やったから、バンザイいうて死によったんとちがうやろか」
いまは詩人米田透となって初老を迎えたトオルさんは酒に酔うとよくしんみりそういう。そのたびごとに、ぼくは悲しく、一鶴が恋しくなる。
英雄のようにぼくたちの前にあらわれ、いちばん早く自慰の快楽を知り、いちばん早くラブレターを出して得恋し失恋し、いちばん早く結婚して二世を得たはずの一鶴よ。その君がいちばん早くこの世から姿をくらましてしまうとは何事か? ぼくはどこからか一鶴を呼び戻すために、かれのおかしく悲しい青春を後章に書くつもりである。
(つづく)

ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

## 三恵洋服店

元町4丁目　TEL ㉞ 7290

KOBE SHIRT



よろずお構 衣縫上處

## 神戸シヤツ

神戸店－神戸大丸前　33-2 1 6 8
東京店－東急日本橋店1階　211-0511 内線219
東急渋谷本店6階　462-3433

Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

オシャレ洋品の店

## フナキヤ

元町3　TEL〈33〉3617

高級紳士服専門店

## 神戸テーラー

さんちかメンズタウン　TEL ㊴0388
生田区北長狭通2（阪急西口）　TEL ㉝2817・3173

シャレたセンスの舶来品が揃っています

サノヘ

元町店　元町2丁目　TEL 33－4707～8
そごう店　特選サロン サノヘコーナー

あらゆる体型に
フィットする
お誂えシャツ

MEN'S SHOP
センシュウ

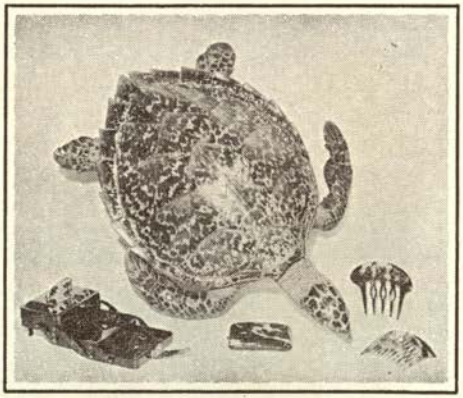
紳士洋品の店
千秋屋

元町店〈元町4〉TEL 34－6959
メトロコウベ店 TEL 34－0550

創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

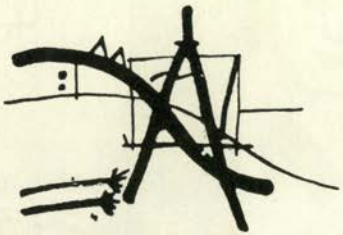
神戸■元町
ACCESSORIES
イクシマヤ

TEL. (33) 2415・2416



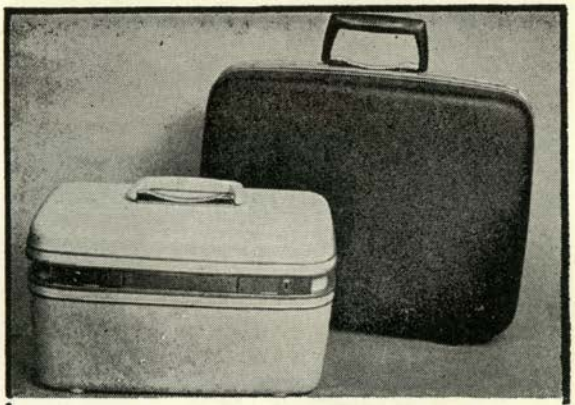
センスあふれる
べっ甲専門店
太田鼈甲店
元町1丁目　TEL㉝6195

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
㊳1309・6234



大　上　鞄　店

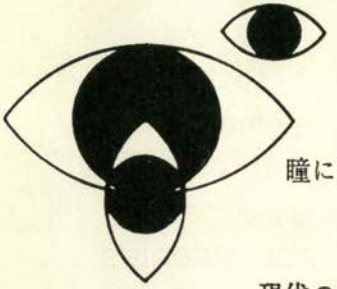
元町通1丁目　TEL　33・3962
さんちかメンズタウン　TEL　39・4627

カメヤ

おもちゃのカメヤ

三宮方面でのお買物は……
さんちか店　ファミリータウン　㊴4045
三宮店　センター街大洋劇場東隣　㊳4969
元町方面でのお買物は……
元町店　元町通3丁目山側　㊳0090
パンプウ店　元町通一丁目不二家前　㊴0768

カメヤのおひなさまで
楽しい桃のお節句を



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員
国際コンタクトレンズ研究所
神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）
神戸国際会館内　TEL（22）8161・（23）2570

おすし
てんぷら
# 榮蒲

本店　大丸前・三宮神社東
TEL ㉝ 5772
　　5674
（毎週水曜日休み）
支店　さんちか味ののれん街
TEL ㊴ 5233

営業時間
A.M.11.30～P.M.9.

清酒 大黒正宗
安福又四郎商店醸



色・味・香り
三つ揃った
灘の生一本
清酒
キンロ

■神戸市東灘区魚崎町魚崎356
金露酒造株式会社



やっぱりうまい
むさしのとんかつ

# トンカツ

ヨーベ三宮
ムサシ

でんわ・
33－三七七一
231－〇六三四
23－〇六三五

神戸っ子のみんなに愛される落ちついた喫茶店

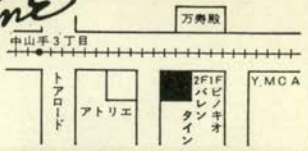
ai

TEA ROOM 喫茶 愛

★神戸・元町本通元一ビル2階　TEL (32) 0958

スナック& プレイラウンジ バレンタイン

Valentine




KOBE・中山手2丁目電停浜
YMCA西　TEL 32−2967

night cap むらかみ

TEL 39-2616

神戸市生田区加納町4（阪急三宮山側但馬銀行北小路入る）

HOOK フック 東店

神戸市生田区栄町1−5−3 TEL(078)32-3207

マゼラン

生田区加納町４丁目　TEL 39－2366

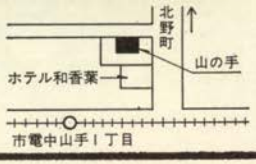
グラムール

生田筋・岸ビル地階　TEL 33－4637

山の手

SNACK
YAMANOTE

神戸市生田区中山手１丁目
ソネビル　ＴＥＬ 22—3637




CLUB 小万

生田新道相互タクシー上る

PHONE：　39——0638
　　39——4386